

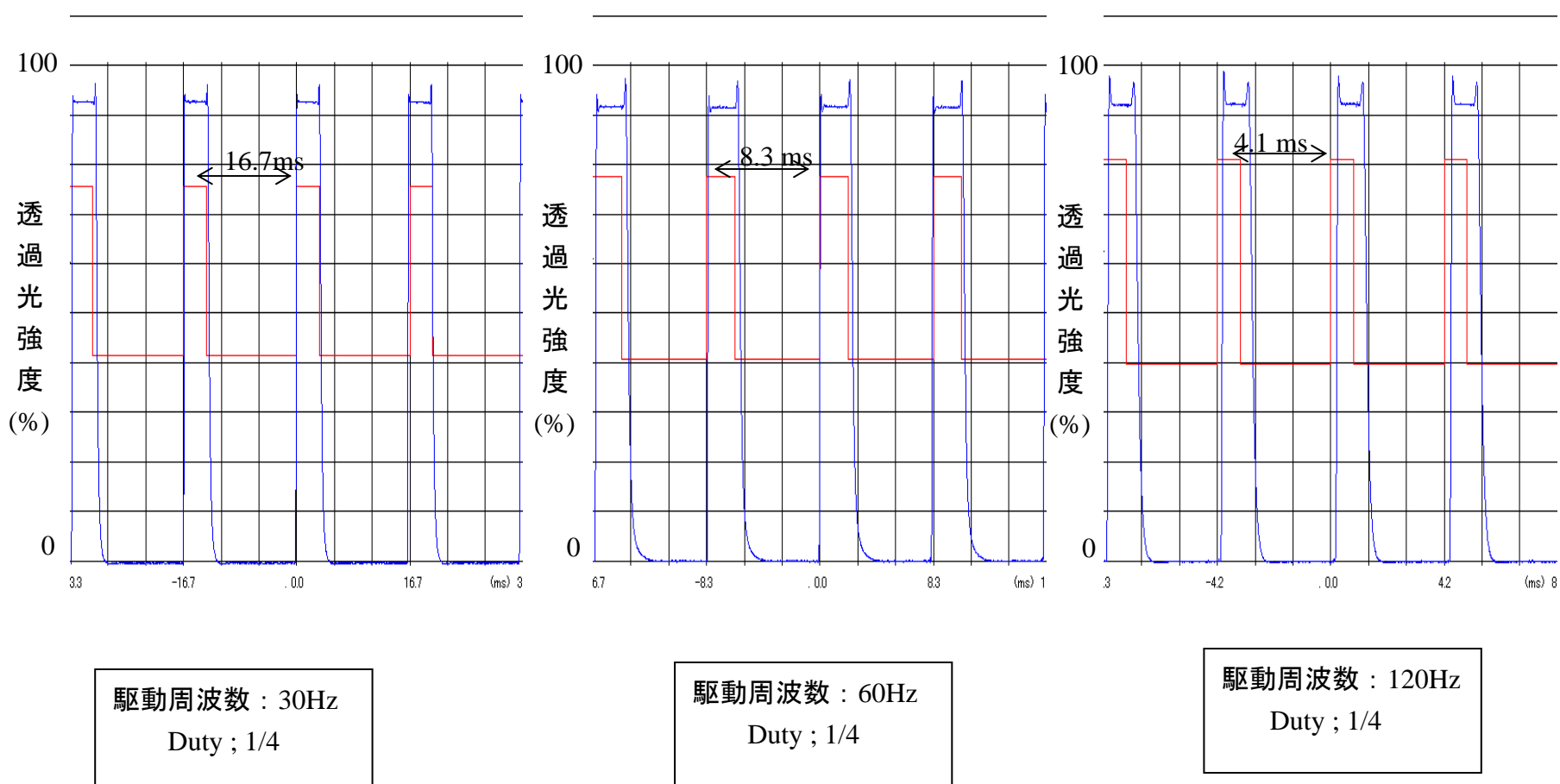
応答特性の説明

反強誘電性液晶は 従来型液晶とは異なり、

1. 電圧印加により On 過程 および Off 過程、両方の応答特性を改良可能にします。
2. スタティック駆動、マトリックス駆動を問わず、最適な駆動方法を提案致します。
3. 3D用アクティブシャッターなどの特性改良に最適です。特に off 時間 $500\mu\text{s}$ 以下の要求。特性に対し駆動周波数 500Hz まで対応可能です。
4. 多様な駆動条件に対し、各種材料で対応致します。
5. Off 過程での緩和過程を観察すると、変化は直線的で特性として 90%-10%での応答評価が可能となります。

写真：1Cつき 2次元マトリックスパネル

電圧印加過程および緩和過程の両過程を改善



※1 透過率の定義：偏光板の吸収軸を平行に組み合わせたときの透過率を 100%とした。なお赤印は駆動波形を表す